

■日時 8月11日(水) ■天候 晴れ
 ■球場 明治神宮野球場 第1試合 準々決勝
 ■審判 球審:清水 塁審:橋本 江口 岸谷

東京都立飛鳥高校 対 沖縄県立那覇商業高校
 ■試合時間 2時間21分 ■備考

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
那覇商業	沖縄	1	1	0	0	0	0	0	0	1							3	4	3
飛鳥	東京1	0	0	0	2	3	0	0	1	x							6	12	4

那覇商業		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	捕	大橋友彦	3	1	0	0	三ゴ	三振			投ゴ		四球		死球					
2	一	新垣喜隆	2	1	0	0	死球		三振		四球		三振							
2	打	上原彰公	1	0	0	0									三振					
3	投	豊田郷	4	0	0	0	死球		右飛		二失		二ゴ		三ゴ					
4	三	大城雅志	4	0	1	0	一邪		右3		三ゴ				二ゴ					
5	中	金城一磨	2	0	0	0	四球		四球			二ゴ		二飛						
6	右	新垣健	4	0	1	0		三振	二ゴ			捕飛		遊安						
7	左	下地誠	2	0	0	0		右ゴ		三振		死球								
7	打	長嶺亨	1	0	0	0									左失					
8	遊	比嘉聖介	4	1	1	0		中3		三ゴ		三振		二ゴ						
9	二	照屋盛太	4	0	1	1		遊安		捕邪			三振		三ゴ					
合計			31	3	4	1	残塁:9 併殺:0													
備考																				

■バッテリー

投手
豊田郷
大城雅志

捕手
大橋友彦

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
豊田郷	4	2/3	23	7	5	2
大城雅志	3	1/3	17	5	4	1

飛鳥		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	二	吉田拳士	5	1	4	0	左安		中安		一安	左安		左飛						
2	中	池田陸	5	1	1	0	三振		中飛		三振	三振		中安						
2		河津辰哉	0	0	0	0														
3	投	上出延寿	4	0	1	0	中飛		遊ゴ		左飛		左安	四球						
4	三	日座保久	2	2	1	1	死球			死球	中3		投犠	三振						
5	右	野口聖人	4	1	1	1	三振			遊飛	右2		投失							
5	右	植田伸一	0	0	0	0														
6	捕	小林仁	4	1	2	2		右飛		右3	左2		捕邪							
7	一	久山功資	4	0	2	0		三ゴ		三安	投ゴ		遊安							
8	左	島敬雄	4	0	0	0		三ゴ		三振		三振	二ゴ							
8	二	柴原拓也	0	0	0	0														
9	遊	白井拓哉	4	0	0	0			中飛	三振		二直		三振						
合計			36	6	12	4	残塁:10 併殺:0													
備考																				

■バッテリー

投手
上出延寿

捕手
小林仁

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
上出延寿	9	39	4	8	8	1

■戦評

神宮球場の準々決勝は前日の2回戦で6点差を逆点した飛鳥と、同じく4点差を逆点した那覇商業の粘り強いチーム同士の対戦になった。先攻したのは那覇商業。1回表三連投となった飛鳥エース上出の立ち上がりを捉え、二つの死球で二死一・二塁から二塁走者新垣善が三盗を仕掛けこれが捕手の三塁悪送球を誘い一気にホームインして1点先制。2回表には二死後、8番比嘉の右中間三塁打と敵失で1点を追加し2-0と試合をリードする。早めに追いつきたい飛鳥だが3回まで那覇商業先発豊田に走者を出すものの要所を締められ得点できず。漸く4回裏、死球の走者を6番小林が右中間適時三塁打で返します1点。外野からの返球がもたつく間に小林が本塁を陥れ一気に同点に追いつく。さらに5回裏には内野安打の走者を4番日座が左中間を深々と破る敵時三塁打で返し逆点に成功。5番野口も右中間適時二塁打で続きこの回2点目。堪り兼ねた那覇商業ベンチは前日好リリフを見せた大城をマウンドに送るも6番小林に左翼越敵時二塁打を浴びこの回3点目を献上。飛鳥の上出は緩急とコーナーを丁寧に突く投球で3回以降強打を誇る那覇商業打線に連打を許さず、9回に死球と味方エラーで1点を追加されるものの完投。8回裏に安打と敵失で1点を追加した飛鳥が6-3とし、得意の逆転勝ちで準決勝に駒を進めた。敗れた那覇商業だが豊田、大城の速球を主体とした小気味よい投球とスピード感溢れる野手陣が好印象だった。